

きょうと女性農業委員・推進委員の会だより

南丹ブロック版

# あゆみ

Vol.14



## 南丹市



### サツマイモ掘り

美山町宮島地区の、しばらく耕作されていなかった畑を、刈払機や鎌を使って人介戦術で雑草を刈り、サツマイモを植えました。大変な作業なので、男性委員さんに手伝っていただいて本当に助かりました。

10月18日に、美山小学校の1年生が、おいも掘りにきてくれました。子供たちは、自分で掘ったおいもを袋いっぱいにつめこんで、喜んで持って帰りました。後日、「おいしかったよ、ありがとう」とお礼の手紙が届きました。農業委員として頑張ったかいがありました。

南丹市 / 谷本委員

### 殿田小学校5年生と食育活動

平成28年12月14日に殿田小学校の5年生21名と日吉特産品「壬生菜」の種まきをしました。交替で行う種まきはとても楽しく、「もっとやりたい」といいながら体験を終えました。



今年の冬は雪が多く、生

長に日数がかかりましたが、雪害にも耐え、平成29年3月7日に無事収穫できました。収穫作業も5年生21人が仕事を分担。予定の時間内に手際良く1袋200g入を100袋と、給食に使ってもらう分を頑張って収穫、袋詰めしてくれました。「もっとやりたいなあ」とか「販売体験もしたいなあ」といいながら、喜んで作業をしてくれました。雪のちらつく寒い日でしたが、「楽しくできた」と言って、学校へ帰って行く姿を見送って、私も大変嬉しい思いで活動をする事ができました。

南丹市 / 吉田委員

## 福井委員の「簡単おはぎ」が全国2位に！

綾部市の福井智徳美委員のレシピ「簡単おはぎ」が、インターネット上のcookpadに掲載されている、全国農業委員会女性協議会・全国農業新聞主催「全国農業新聞の献立♪」で、全国2位のアクセス数となり、女性農業委員活動推進シンポジウム（3月9日開催）で表彰されました。



## 京丹波町



### 自社の生乳から毎日 モッツアレラチーズを製造！

毎朝搾乳した新鮮な生乳を使って、2種類のモッツアレラチーズを製造。独特の弾力、爽やかなミルクの香り、癖のないすっきりとした味わいが特徴です。

京丹波町下山、「杉山牧場」経営者の長女、杉山牧<sup>すぎやま</sup>さんは、10年間北海道のチーズ作りの現場で技術を磨き、2014年に「(株)ミルクファームすぎやま」を設立。モッツアレラチーズの製造・販売をされています。

「杉山牧場」の隣とはいえ、「原料となる生乳は、揺れないようにそっと運ぶことが大切。チーズの味が変わるんです」と、繊細なチーズを確かな知識と技術で製造されています。

「出来立てのフレッシュなおいしさを味わってもらいたい！」と、京都縦貫道・道の駅「京丹波味夢の里」で販売中です。大人気商品につき“売り切れ御免”

ですが、週末はいつもより多く販売されています。一度食べたら、やみつきになりますよ！ぜひご賞味を！

京丹波町／児玉委員

## 亀岡市



### 筍にワクワク！

亀岡市の篠町は、上質な筍の産地です。秋に肥料を施し、間伐などをして、冬の間に稲わらを敷いて土入れをしています。この作業と、大きな筍の収穫はかなり重労働です。

もうすぐ筍が目覚まし、地割れが見られる事でしょう。ワクワクします。筍ごはん・筍の天ぷらは、絶品ですね。美味しい恵みに感謝！

亀岡市／栗山委員

## 「会」の活動報告

### 総会・研修交流会で31名が交流

2月17日に京都市で第11回総会・女性農業委員研修交流会を開催し、31名の会員が出席。29年度活動計画・予算、会の名称変更を承認した後、「女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用に関する申し合わせ」を行いました。その後の研修交流会では、女性委員の活動と登用促進をテーマに、湖国女性農業・推進委員協議会(滋賀県)の池田喜久子会長の講演とグループディスカッションを行い、これからの「会」の活動について意見交換しました。



### 女性委員活動シンポ(東京)に11名参加

3月9日に東京都で開催された女性農業委員活動推進シンポジウムに、京都市・久御山町・京田辺市・南丹市から計11名が参加しました。「女性委員の登用促進」をテーマにした講演と「女性が頑張る町おこし」についてのパネルディスカッションの後、「男女共同参画社会の形成と農地利用の最適化」に取り組むアピールを採択しました。

### 女性農業委員・農地利用最適化推進委員の 登用に関する申し合わせ

平成28年4月に施行された改正農業委員会法では、年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮することが明記されるなど、女性の登用についてさらに積極的に取り組むことが求められている。

現在、府内26農業委員会における女性委員数は、23委員会に57人と、まだ全農業委員数の1割にも満たない。女性農業委員の発想や提案を、農業委員会の日々の組織運営にいかし定着させていくためには、全農業委員会に複数の女性委員が登用され、女性委員の輪をもうひとまわり大きくしていくことが求められる。

そこで、私たち「きょうと女性農業委員・推進委員の会」は、今後も継続的かつ安定的に女性が農業委員、推進委員に登用され、幅広い農業委員会活動促進観点から下記の取り組みに全力をあげることを申し合わせ、決議する。

記

- 一、現在の任期が満了するまで、農業委員として、自らの地域活動を強化し成果の積み上げに努める。
- 一、農業委員にふさわしい女性農業者を積極的に推薦し、登用促進に向けた環境づくりに努める。
- 一、今期で交代する女性委員は、責任を持って後任委員候補の掘り起こし・推薦等を行う。
- 一、他の農村・農業女性組織と連携し、関係機関に女性委員登用の働きかけを行う。

平成29年2月17日

きょうと女性農業委員・推進委員の会  
第11回総会